

センター通信

荒牧中学校「3つの“新”」



伊丹市立荒牧中学校

生徒指導主事 米田 拓央

こんにちは。伊丹市立荒牧中学校・生徒指導主事の米田と申します。今回は、現在推進している本校の「3つの【新】」を紹介させていただきます。

1つ目の【新】は、制服です。本校は来年2024年度から、制服が新しくなります。これは、「制服をリニューアルしたい」という生徒の意見がきっかけとなり実現したもので、新制服を考えていく過程においても、男女兼用ブレザーやネクタイの採用など、生徒たちの意見を積極的に取り入れました。また、アンケートで圧倒的な支持を得たスクールカラーの「サックスブルー」をキーカラーとして、ネクタイやブレザーのステッチの色として盛り込み、ブレザーのボタンは生徒からデザインを募集し、その作品の中から投票で決定しました。

2つ目の【新】は、校則です。校則については、社会の風潮とも相まって、これまでの校則に課題が見受けられるようになってきました。その中で、「校則を変えたい」という生徒の声があがり、生徒会が中心となって、新しい校則を考えました。「自ら考え、行動し、自分の未来を創造する校則」というテーマを設定し、みんなが安心・安全に、気持ちよく生活できて、正しいTPOを身に付けるための校則改定に取り組みしました。生徒たちが自ら情報収集し、話し合いを重ねて作った新校則は、7月の生徒総会で承認され、現在、荒中生の学校生活を支えています。

さて、「新制服」・「新校則」と紹介してきましたが、3つ目の【新】は、「新しい学校のスタイル」です。生徒が、自ら動いて制服や校則を変えたように、これからは教師主導ではなく、生徒主体で学校を動かしていくことができる時代です。本校は、この新しい学校のスタイルを推し進め、「自分の未来を創造できる」人財育成を目指していきます。

「荒牧といえばバラかな…と思ったのでバラのつぼみを書きました。」

「バラのトゲは反抗期や思春期を、つぼみは成長途中の私達を表しています。」

これは、新制服のボタンに決定したデザインに込められた、2年生の女子生徒の想いです。荒中生たちの「新しい可能性」という名のつぼみが、寒い季節を乗り越え花を咲かせ、そしてまた、たくさんの幸せの種を蒔いてくれることを、私は願っています。

伊丹市青少年健全育成研修会 ―伊丹市青少年を守る店連絡協議会―

11月30日(木)、令和5年度伊丹市青少年健全育成研修会が総合教育センター(研修室)にて開催されました。開会行事では、静川会長の挨拶後、ご来賓を代表して伊丹警察署長 福田 和雄 様にご挨拶をいただきました。

研修会では兵庫県立明石学園 教務第2課長 重國 弘太郎 氏に「児童自立支援施設での生活について」を演題にご講演いただきました。

子どもたちが施設で生活するに至る様々なケースや背景を窺い知ることができました。なかでも、副会長が謝辞で述べたように、子どもたちを「変えよう」とするのではなく、子どもたち自身が「変わろう」とする気持ち・こころを育み、支援するという運営理念に子どもたちへの接し方について気づかされる所がありました。それは、私たち大人はそれぞれの子どもに様々な事情や背景があるのではないかと考えて接していくことが、子どもたちの健全育成の一端に繋がっていくことでした。

また、今回の研修会で今まであまり知ることのなかった関係機関について理解を深めることもできました。



～ 少年を「使い捨て」にする「闇バイト」の現実 ～

少年たちが「闇バイト」に応募し、犯罪行為に加担するまでの流れの中で、最も多く見られる基本的なパターン

- ① 少年たちは、自ら一般的な SNS、コミュニティサイトなどで「高額報酬」「闇バイト」などと検索し、応募します。また、「先輩・友人に誘われた」といったものが一定数あり、少年が「闇バイト」に応募するきっかけの特徴の 1 つとして挙げられます。
- ② 犯行グループから連絡が入り、匿名性の高いアプリ (Telegram、Signal 等) をインストールさせた上、やりとりについてはこのアプリを使って行うよう指示をします。
- ③ 犯行グループに「アルバイトをするための登録情報として必要」などと言葉巧みに個人情報を要求されるがまま個人情報 (身分証明書などの写真) を送信します。
- ④ 個人情報の送信が完了すれば犯行グループから仕事の内容 (詳細) が伝達され、犯罪行為であることが明らかになります。犯罪行為への加担を拒否すれば犯行グループが個人情報を基に加担するまで執拗に脅迫します。

(令和5年7月 警察庁)

警察庁生活安全局 人身安全・少年課長は、少年がこのような犯罪へ加担することを防止するためには、保護者、教職員、少年警察ボランティアなど、青少年の健全育成に携わる方々が、犯行グループによる犯罪実行役の募集の実態や危険性、悪質性について具体的に少年に発信していくことが重要であると述べています。

(詳細は警察庁 Web サイト「事例集 犯罪実行者募集の実態について」)

「闇バイト」に申し込んでしまった、抜け出したいのに抜け出せない人の相談窓口として「警察相談ダイヤル」#9110、兵庫県「ヤングトーク」0120-786-109 が開設されています。

11月補導活動 ―暫定値―	幼児 小学生	中学生	高校生 その他	大人
あいさつ	1666	217	83	322
声かけ/会話等	269	60	38	61
(内) 盗みに関する	2	4	0	0
交通に関する	25	2	7	20
その他	5	6	18	0
電話相談	5件	有害図書回収状況		
来所相談	3件	有害図書 64冊		
メール相談	1件	有害AV 152個		

子どもと保護者のためのなやみ相談窓口	
<電話相談>	☎ 072-770-8742
月曜日～金曜日 (年末年始・祝日を除く)	10:00～17:30
<来所相談> (要予約)	☎ 072-780-3540
月曜日～金曜日 (年末年始・祝日を除く)	10:00～17:00
<メール相談>	aigo@itami.ed.jp
または、当センターHPのメールフォームをご利用ください	

白ポスト

白ポスト設置場所
【市内13ヶ所】

- ・バラ公園バス停・荒牧バス停
- ・西森津バス停・山田バス停
- ・JR北伊丹駅・JR伊丹駅
- ・阪急伊丹駅・聖塚公園
- ・裁判所前・中野西公園
- ・北センター前・南センター前
- ・東りいたみホール前

ひょうご防犯ネット情報 (11/1～11/30 掲載分)

日	時刻	場所 (事案)	概要
11/4	21:25	池尻7 (不審者)	路上でノコギリのような物を振り回している男の目撃情報があった。
11/9	16:00	野間北5 (無断撮影)	自転車で行き中の女子高校生に対して、男が車の運転席からスマートフォンを向けて撮影する素振りをした後、いずれかに走り去った。
11/24	10:30	中野北2 (声かけ)	徒歩で行き中の女子中学生に対して、男が「子どもの作り方知ってる」と声をかけ、バイクで東方向に立ち去った。
11/29	18:30	中野西4 (暴行)	徒歩で行き中の女子高校生に対して、後方から自転車に乗車した男4～5名が近付き、うち1名が女子高校生の後ろから肩を押し、東方向に立ち去った。

< 12月の主な行事 >

- 5(火) 伊丹市少年補導委員 管外研修
- 7(木) 伊丹市少年補導委員連合会
役員会・定例理事会
- 7(木) 冬季全市一斉愛護パトロール
- 8(金) 冬季全市一斉愛護パトロール (予備日)
- 8(金) 青少年を守り育てるための学習支援事業 (阪神北ブロック)



- 11(月) 広報啓発活動・一斉補導
- 22(金) 繁華街特別補導
- 22(金) 有害図書回収 (随時)
- 街頭補導活動 (各小学校区)
- 中学校区内補導活動 (各中学校区)
- 電話・来所・メール相談 (愛護センター)

*「センター通信」へのご意見ご感想は伊丹市立少年愛護センター (TEL 072-780-3540) までお寄せください。